

『テニピン』実施レポート

学校名	松阪市立鶴小中学校	実施日	11月下旬から12月上旬
担当教員名	澤村直樹	実施学年/人数	6年/18人
学校学級紹介	<p>松阪市北部にある海沿いの学校です。近くの五主海岸は、潮干狩りスポットです。また、近年、校区にある河津桜ロードが整備され、シーズンになると多数の観光客がみえます。学校では、近隣では珍しいヤギを飼育しています。鶴小中学校の飼育委員は、他校にはないであろうヤギのお世話をしています。小規模の学校なので、異学年の交流が活発であり、高学年の子たちが低学年の子たちの面倒をよく見てくれます。休み時間も、異学年と遊ぶ姿が日常になっています。イチオシは、学校・地域を挙げての七夕祭りです。鶴地区は、波氏（はて）神社という七夕伝説発祥の神社があります。そこで学校では七夕集会で6年生が劇をし、地域では七夕祭りを行っています。少人数ということもあり、特に6年生は、他学年、学校のために行動することを日常的に意識しており、学級においても優しい雰囲気です。</p>		
実施内容	<p>テニピンの用具をテニス協会から貸していただき実施。体育館で行った。ゲーム形式では、コート中央のラインをコーンとテープ、四隅はケンステップを目印とした。活動は「①一人ずつの運動」「②ペアでの運動」「③チームでの運動」「④試合」という流れで行った。単元初めは①②の時間が長く、後半は③、④の時間を長くした。</p> <p>①一人ずつの運動…ラケットでボールを上、下に、バウンド、壁打ち。 ②ペアでの運動…壁打ち交互。 ③チームでの運動…4人でラリーの練習 ④試合…ダブルスABCD4コート。勝ったら1つずつ上がり負けたら下がる。</p>		
指導のポイント	<p>まず、ハンドラケットの扱いに慣れることである。子どもたちは「手打ち」に慣れておらず、相手に向かってボールを打つことが難しい。そこで一人でボールをコントロールする練習をゲーム形式で行った。壁打ちは、返ってきたボールを手でいったん受けてから、また打ち出すようなスモールステップでラリーにつなげられるように指導した。次に、ペアで壁打ちを行った。スカッシュのようになり、お互い楽しみながらどうすればラリーが続くのか、打ち返しにくいのかなど技術と戦術を考えることができた。次に、グループでラリーを続ける練習を行った。ルールの確認とラリーが可能になってきたら試合を行った。その後、「試合→必要な練習は何？→練習→試合」というサイクルから、「試合→作戦→試合→交流」という形で進めた。どちらも子どもたちからの気づきを交流する形で身につけさせたい動きを指導していった。</p>		
感想・印象 今後の実施計画	<p>ほとんどの子がやったことのない競技であったため、動きのレベルの差が比較的小さい段階からスタートした。そのため運動ができる子もできない子も同じように失敗する場があり、みんなが楽しんで行うことができた。「先生、テニピン休み時間にやりたい」という声上がるほど、子どもたちは楽しんで取り組んでいた。試合はダブルスで必ず交互に打つルールがあるため、ふだんのボール運動では積極的でない子も、必然的に運動の機会が多くなる。そのため技術もあがり意欲的に参加する子が多かった。さらにペアを工夫したことで、運動が苦手な子とその日のチャンピオンになることが続いた。特別支援学級の児童も特別ルールを適用することによってみんなと試合をすることもできた。何より競うことではなく、心から運動を楽しんでいる雰囲気があった。今年度の6年生の指導を叩き台に各学年で次年度以降、取り組んでいく予定である。</p>		

以下についても御協力御願います。

- 1) 指導案
- 2) 児童感想文（ホームページに掲載可能なもの）
- 3) 写真2枚程度（ホームページに掲載可能なもの）

1 テニピン 単元計画

【6年生】18人での実践

	1	2	3	4	5	6
共通	○個人練習（ラケットを使った動き、壁打ち） ○ペア練習（壁打ち、ラリー）					
思考	上手に打ち返すことができる友達の動きを見て、ポイントを考える					
共通	○試合の準備					
試合	ルールを 知る	ラリーを 続ける	攻めの動き の工夫	守りの動き の工夫	勝つための 工夫	楽しむため の工夫
振り返り						

☆最初は個人・ペア練習に時間を多く使う。

☆個人もペアも練習にならないようにする。

- ・個人→多様な動きをしてみよう。面白い動きを真似してみよう。○秒で何回できるかな。
- ・ペア→ラリーを何回続けられるかな。○秒で何回できるかな。

2 テニピン 指導計画

学習活動	指導上の留意点
1 個人練習をする <ul style="list-style-type: none"> ・体育館に早く来た子から準備して行う ・【3 活動詳細】 から選んで練習する ・◇を○回できた子から集まる 	○単元最初は、【3 活動詳細】の運動を例示する。できるようになるのを待つのではなく、次々に新しい動きを指示していく。 ○「壁打ち30回できた子からコーンに並ぶ」などレベルの差を把握できるように集合させ、ある程度力が均等になるようにペアをつくる。 ○例示する子たちが、同じ子ばかりにならないようにポイントを幅広く考えておく。（打ち方・声、配慮、待ち方、喜び方など） ○前時までに出了たポイントが蓄積するように黒板に書いて（貼って）増やしていく。
2 ペア練習をする <ul style="list-style-type: none"> ・1の最後で集まった順にペアになる（上手な子と苦手な子がペアなど） ・壁打ちでラリーを練習する 	
3 上手なポイントを考える <ul style="list-style-type: none"> ・ラリーが多かったペア例示 ・どこが上手なのか交流する ・工夫した点を発表する 	
4 試合をする <ul style="list-style-type: none"> ・コートを準備する ・作戦を考える（学習カード） ・対戦するペア同士でラリーの順番を決める ・ラリーを続ける練習をする ・1試合2分で試合を行う 	

<ul style="list-style-type: none"> ・勝ったらコートを1つ上がり、負けたらコートを1つ下がる。 <p>5 振り返りをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カードをもとに振り返りをする。 <p>6 片付け</p>	<p>を追加していく。</p> <p>○コートをA～Dまでつくる。勝てばAに順に上がり負ければ順にDに下がる。</p> <p>○作戦がうまくいったか。次はどのような作戦が考えられるか、必要な練習は何かなど記録する。</p>
--	---

3 テニピン 活動詳細

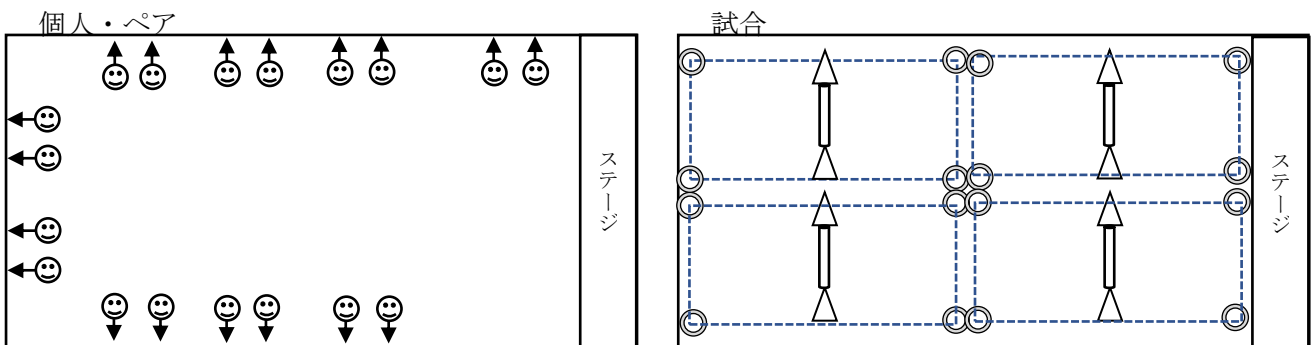
(1) 個人練習

- ① ラケットポンポン…ハンドラケット上でボールをポンポン上にはじく。
→高く・低く・移動しながら・回転しながら・途中でパンと手を叩いて、手や面を変えて
- ② ラケットバンバン…ハンドラケットでボールを下にバンバンと打ち付ける。
→移動しながら・回転しながら・隣としゃべりながら・手や面を変えて
→強く打ち付け高く跳ねさせ、またバウンドしたボールを下に強く打つ
→低く早く何度も打ち付ける
- ③ 壁打ち
→壁に向かって打つ・ワンバウンドで取る・繰り返す
→壁に向かって打つ・ワンバウンドで打ち返す（ラリー）・繰り返す
→ラリーをフォア・バックで繰り返す

(2) ペア練習

- ① ラケットバンバン…（1）②をペアで交互にする
- ② 壁打ち…（1）③をペアで交互に行う

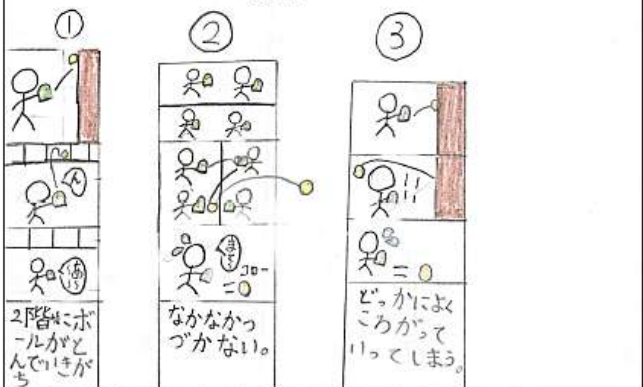
(3) 場づくり



試合時のコートは、コーンにPPテープを結んで中央ラインとした。エンドラインは、ケンステップをだいたいの目安とした。最初は、小さめのコートの方が、ラリーが続きやすかった。技能がついてきてから上記のようにいっぱいをつかって4面で行った。

12月7日(月)

テニピン あるある



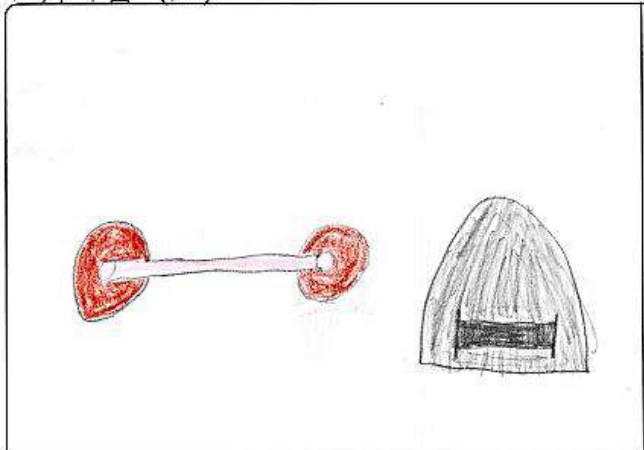
ま	こ	な	な	試	こ	す	す	な	合	は	分	分	め	!
た	水	い	っ	合	え	と	ら	い	は	か	か	か	て	。
や	か	方	た	も	て	か	結	と	4	べ	っ	ら	知	な
っ	ら	で	。	ち	い	か	始	人	打	た	。	か	た	て
て	も	続	か	た	。	ち	な	ま	全	ち	。	か	た	て
み	や	け	べ	ん	。	よ	か	ら	買	す	で	っ	と	思
た	る	ら	打	と	で	っ	な	に	ら	も	た	き	っ	う
い	機	水	ち	続	も	と	た	い	1	続	け	は	た	自
な	会	る	も	け	何	っ	け	回	か	初	ど	な	。	分
と	か	よ	ボ	ら	週	と	す	ど	ボ	な	め	や	に	テ
思	あ	う	1	水	間	か	る	最	1	か	て	っ	が	ニ
う	っ	に	ル	る	か	も	と	初	ル	っ	や	て	な	ピ
。	た	な	を	よ	す	よ	は	が	た	。	み	ん	ン	け
ら	っ	と	う	る	く	。	そ	回	。	た	た	だ	を	い
、	た	ら	に	と	間	あ	水	ら	試	時	ら	か	初	い

12月7日(月)



う	へ	め	嬉	裏	1	じ	ら	下	で	お	る	く	か
な	た	あ	し	が	回	く	。	き	も	ど	よ	。	ベ
ラ	。	て	い	く	チ	ら	る	な	私	る	う	ま	に
ニ	い	を	風	す	ヤ	い	回	い	だ	よ	。	る	ボ
ロ	っ	決	が	ぐ	ン	に	ぐ	。	け	う	ず	イ	ン
ン	の	め	ふ	ら	ど	。	ら	そ	ボ	に	っ	か	ボ
だ	ま	て	く	れ	。	チ	い	し	1	夢	と	ベ	ン
っ	い	き	。	る	ン	い	す	マ	ル	中	練	を	ボ
た	か	て	い	よ	に	ん	る	打	が	に	習	い	1
。	夢	良	ま	う	な	戦	と	ち	コ	な	し	た	ル
中	か	ま	な	れ	が	み	か	ン	っ	て	め	を	
に	っ	マ	ボ	テ	始	ん	え	ト	マ	る	っ	打	
	な	た	自	ン	ま	な	す	口	い	と	け	っ	
	ら	と	分	ノ	心	る	と	練	1	く	心	マ	テ
	よ	思	で	リ	の	と	同	カ	ル	。	か	い	い

12月7日(月)



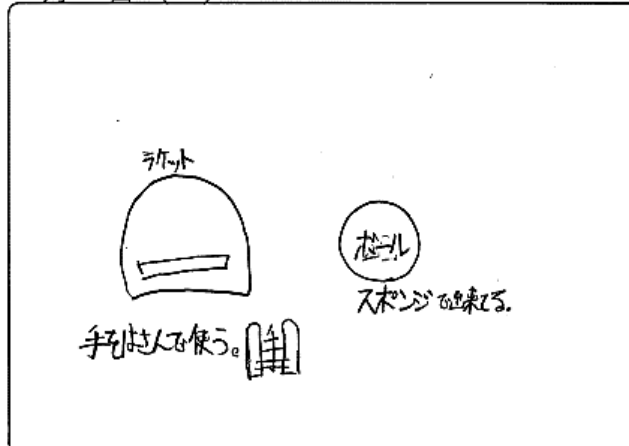
を	に	に	コ	作	に	急	コ	た
考	で	な	相	1	戦	理	を	一
え	も	っ	手	レ	ト	由	シ	球
ら	、	乙	に	乙	カ	、	は	乙
れ	相	し	と	、	ら	試	、	に
乙	手	ま	っ	前	は	合	後	ニ
、	ガ	い	乙	の	み	を	っ	ガ
案	討	ま	の	方	を	す	の	目
し	ち	し	チ	を	ま	る	方	は
ガ	に	ち	や	ね	し	と	に	、
っ	く	。	ン	ら	た	、	す	作
ち	い	ス	う	。	ほ	る	戦	乙
で	球	ホ	と	く	と	乙	す	ら
す	な	1	、	は	い	す	。	後
。	と	ル	逆	、	う	。	ら	に

12月7日(月)



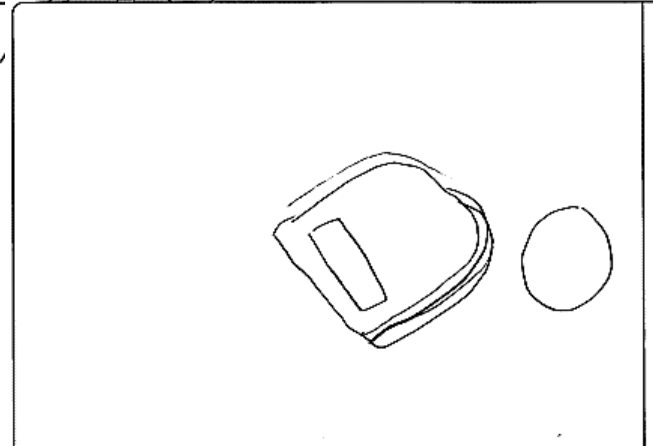
た。さん。別。育。は。か。の。た。で。手。や。ら。初。テ。
 し。で。の。か。見。方。打。に。に。打。た。っ。れ。め。ニ。
 く。勝。し。は。は。て。打。し。は。ど。ち。日。は。い。試。ビ。
 て。つ。も。ず。り。く。っ。て。き。返。は。思。合。ン。
 も。の。も。を。使。る。た。リ。イ。に。ト。の。や。出。た。い。
 つ。は。手。強。た。く。ん。を。わ。す。こ。じ。分。ら。た。ス。
 と。難。い。さ。な。る。こ。と。を。知。れ。ち。逆。っ。心。か。相。
 や。し。が。さ。ん。の。仕。事。を。知。れ。ち。逆。っ。心。か。相。
 いた。か。盛。だ。だ。か。テ。二。
 思。だ。か。テ。二。

月 日 ()



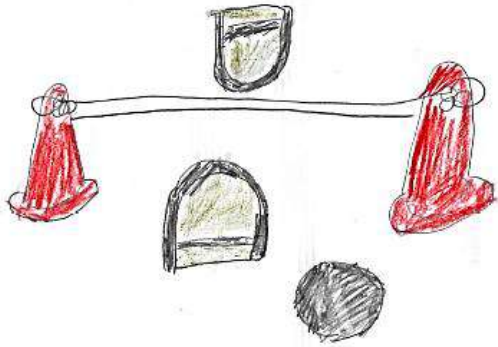
手は人の使う。[目]
 松丸
 スポンジの味。
 二。一。難。し。二。体。育。で。テ。ニ。ス。の。み。や。り。た。い。だ。
 二。一。難。し。二。体。育。で。テ。ニ。ス。の。み。や。り。た。い。だ。

月 日 ()



二。一。難。し。二。体。育。で。テ。ニ。ス。の。み。や。り。た。い。だ。
 二。一。難。し。二。体。育。で。テ。ニ。ス。の。み。や。り。た。い。だ。

12月17日(日)



テ	い	く	ど	工	左	1	お	い	ひ	て	て	た	し
ニ	ろ	ち	ホ	左	夫	ひ	ル	ち	物	作	作	于	人
ハ	い	く	1	ひ	ひ	オ	か	ら	じ	と	と	ニ	か
ン	た	と	ル	オ	点	と	と	し	ら	ら	に	そ	初
は	た	と	を	教	テ	て	思	左	と	と	に	た	初
マ	原	原	性	を	二	し	り	た	た	を	は	た	初
樂	と	つ	体	取	心	簡	ま	ル	ホ	う	見	と	こ
し	か	と	ら	る	と	案	し	1	1	个	を	思	テ
か	の	長	か	う	の	ま	を	ル	ル	ノ	か	い	二
フ	か	教	イ	が	や	。	は	ひ	ら	る	ま	ハ	二
ま	り	を	ネ	ン	教	い	り	そ	と	と	と	し	一
で	ま	取	が	か	し	ろ	や	し	と	と	文	ス	と
す	し	る	ハ	リ	か	い	す	左	人	も	ホ	。開	を
。と	な	の	を	こ	ろ	か	く	た	身	ン	そ	い	し
	。と	前	り	か	た	の	ル	人	し	ジ	ジ	し	で